

社会資本総合整備計画 事後評価シート

下水道整備と浸水対策の官民一体となった総合的な整備

平成28年5月

愛知県 江南市

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書

平成28年5月20日

計画の名称	1 下水道整備と浸水対策の官民一体となった総合的な整備									
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）			交付対象	愛知県江南市					
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。									
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 下水道処理人口普及率を20.9%(H21末)から28.9%(H27)に増加させる。 浄化槽転用基数を226基(H21末)から407基(H27)に増加。浄化槽を貯留施設に転用することで、雨水貯留量を460m³(H21末)から778m³(H27)に増加。 雨水貯留槽設置基数を0基(H26当初)から390基(H27)に増加。雨水貯留槽、浸透柵、浸透トレンチ管、透水性舗装の整備における雨水貯留量を0m³(H26当初)から142m³(H27)に増加。 									
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値		備考		
						当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)		最終目標値 (H27末)	
①	下水道処理人口普及率	下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）		20.9%	24.2%	28.9%				
②	浄化槽転用基数			226基	285基	407基				
	浄化槽転用による雨水貯留量			460m ³	558m ³	778m ³				
③	雨水貯留槽設置基数			－基	0基	390基				
	雨水貯留量			－m ³	0m ³	142m ³				
全体事業費	合計 (A+B+C)	1234.9百万円	A	1194.8百万円	B	0百万円	C	40.1百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)	3.2%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
担当部署において目標の達成状況やその要因を確認・とりまとめを行い事後評価を実施	平成28年4月
	公表の方法
	市ホームページにより公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
A-1	下水道	一般	江南市	直接	江南市	汚水	新設	中部処理分区（未普及解消）	汚水管92.3ha, 幹線990m	江南市						1017.7	
A-2	下水道	一般	江南市	間接	民間	汚水	-	浄化槽雨水貯留槽転用補助	191基	江南市						52.6	新世代
A-3	下水道	一般	江南市	間接	民間	-	-	雨水貯留施設等補助	341基ほか	江南市						17.8	新世代
A-4	下水道	一般	江南市	直接	江南市	汚水	新設	効率的汚水処理整備計画策定	都道府県構想委託	江南市						4.3	
											小計（下水道事業）		1,092.4				
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
C-1	下水道	一般	江南市	間接	民間	新設	各戸排水設備補助	各戸排水設備補助 1,350件	江南市						11.7	
C-2	下水道	一般	江南市	直接	江南市	新設	中部処理分区（末端管きよ整備）	汚水末端管 54.5ha	江南市						27.0	
合計														38.7		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
C-1	各戸排水設備に対して補助することにより、下水道接続を促し公共用水域の水質安全を図る。															
C-2	基幹事業である中部処理分区の管きよ整備と接続した末端管きよ整備を一体的に行うことにより、都市基盤整備の効果・促進を図る。															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・下水道整備を行った結果、下水道処理人口普及率が増加し、生活環境の向上に寄与した。 ・浄化槽雨水貯留槽転用補助事業を行った結果、雨水483m³の貯留が可能となり、浸水被害の低減に寄与した。 ・雨水貯留施設等補助事業を行った結果、雨水105m³の貯留が可能となり、浸水被害の低減に寄与した。 														
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道処理人口普及率）	最終目標値	28.9%		目標値と実績値に差が出た要因	当初の想定よりも、供用開始区域内の人口が増加したため。										
		最終実績値	29.3%													
	指標②（浄化槽転用基数・浄化槽転用による雨水貯留量）	最終目標値	407基	778m ³	目標値と実績値に差が出た要因	PRが進み浄化槽雨水貯留槽転用の有効性が広まり、想定以上の申請があったため。市単独費での補助実績もあるため。										
		最終実績値	417基	943m ³												
	指標③（雨水貯留槽設置基数・雨水貯留量）	最終目標値	390基	142m ³	目標値と実績値に差が出た要因	目標値設定時点で補助制度開始からの経過年数が少なかったことから、水害直後で申請件数が突出していた年度のデータを基準とし、設定してしまっていたため。										
		最終実績値	341基	105m ³												
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）																

3. 特記事項（今後の方針等）

下水道整備については、当初計画どおり達成することができた。しかしながら、本市の下水道普及率は愛知県下においても依然として低い状況にあるため、引き続き効率的な整備を推進し、生活環境の向上に努めていく。

浄化槽雨水貯留槽転用補助、雨水貯留施設等補助については、今後も広く市民の方に利用してもらえよう、広報や説明会等でのPRを継続し、浸水被害低減のため周知を行っていく。

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）

計画の名称	1 下水道整備と浸水対策の官民一体となった総合的な整備	交付対象	愛知県江南市
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）		

